

湘南浦高会通信 第16号

2024年8月10日

注：氏名のあとの（ ）内の数字は高校卒業回数

<総会実施報告>

湘南浦高会第11回総会は、7月6日（土）15:20から藤沢商工会館にて開催されました。浦高同窓会事務局長の篠田雅彦氏及び浦高が誇る世界的オーボエ奏者の渡辺克也氏をゲストにお迎えして、高13回から高69回までの21名の出席がありました。



・会長挨拶 平井隆一（21）

お忙しい中、また猛暑の中、ご出席いただき大変有難うございます。本日もご出席の最高齢の方は高13回のお2人で、最若手は高69回、その間何と56年も離れています。しかし同窓会は縦も横の関係も分厚くできる優れた会ですので、今後ともネットワークを広げて行きたいと考えています。

本日は、オーボエの渡辺克也氏（37）にご登場いただき「ヨーロッパの生活と音楽事情」について、演奏を交えながらご講演を頂く予定です。

また、同窓会本部からは篠田事務局長に遠路はるばるおいでいただき、最新の浦高事情をお話頂きます。特に昨年から大いに話題になっている男女共学化の問題につき、具に語って頂きます。

さらに、今総会で湘南浦高会の役員体制を変更します。後程皆様のご承認を得てから今後2年間湘南浦高会の運営を担当させて頂く予定です。

・同窓会本部からの報告

篠田事務局長から、席上配布された「共学化勧告に関する事実経緯」の説明資料を基に経過と現状説明があった。昨年突然「県男女共同参画苦情処理委員が、県教育委員会教育長宛に別学12校は共学化すべし、との「勧告書」を出したのが発端で、浦高同窓会は「共学化反対」の意見書を教育長宛に提出済だが、浦高生、

保護者も反対意見である。また、他の別学11校も共学化に反対の意向。この8月末に県教育局長から苦情処理委員宛に回答書が提出される予定だが、どうなるか予断を許さない情勢とのことです。

篠田事務局長の説明に対して会場から活発な質問があり、この問題への関心の高さが現れました。

・総会議事（別紙参照）

【第1号議案】2023年度の活動報告 承認

別紙に基づき、2023年度の湘南浦高会の活動が報告されました。主なイベントは鎌倉散策が4月と12月の2回、ゴルフコンペが5月と10月の2回実施されました。また懇親会もその都度開催され、会員相互の親睦が図られました。特に鎌倉散策では、他地区同窓会からの参加が参加者計38名中9名もあり、他地区間交流も推進されました。

また、会員の拡大策として、県央・県西・湘南各地区に居住の175名の方々にハガキで湘南浦高会メンバー登録を促したところ、14名の方々が応じて下さいました。

「男女共学化」の問題についても、「喫茶去」等の情報を会員に適時配信することにより、周知を図りました。

【第2号議案】会計報告 承認

別紙に基づき、2023年度の会計報告が行われました。湘南浦高会の会計は、基本的に実費主義であり、年会費等は徴収せずにイベント毎に都度精算しています。結果、若干のプラスで運営されています。

【第3号議案】2024年度活動方針・計画・予算 承認

別紙に基づき、説明がなされました。具体的には12月7日に鎌倉散策（北鎌倉方面）を予定。来春には横須賀散策も。ゴルフコンペも2回（春4/16済、秋10/16予定）開催。「湘南浦高会通信」は2回発行。地域・職域責任者会議への出席、他地区同窓会との関連では大宮浦高会総会への参加を考えています。地域ボランティア活動は、会員それぞれが町内会のボランティア活動を通じて貢献されているので、会としては今のところ特段アクションは取らないつもりです。

予算については引き続き都度実費精算方式を採用するので、会費等の徴収は行わずに、年間予算は計画致しません。

【第4号議案】今後2年間の新役員体制 承認

今後2年間、この体制で運営して参りますので、皆様のご支援ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

＜総会「講演会」報告＞ 大出 佳和 (27)

総会の終了後は「ヨーロッパの生活と音楽事情」というテーマでゲストとしてご参加いただいた世界的なオーボエ奏者の渡辺克也さん(37)に講演およびオーボエ演奏していただきました。

＜講演の要旨＞

渡辺さんはドイツ在住ですのでドイツの労働事情やエネルギー事情について説明いただきました。要旨はつぎのとおりです。

(1) ドイツの労働事情

ドイツの GDP が日本を抜いて世界 3 位になったというニュースが昨年ありましたが、ドイツの労働者の生産性は高いと思います。時間あたりの GDP は 68.6 ドルで日本の 48.0 ドルと比較してもかなり高くなっています。(2022 年統計) 働き方としては効率重視、無駄を省く、成果主義が奨励されており、1 日 10 時間を超える労働は法律で禁止されています。メルケル首相時の 2010 年に掲げられた「アゲンダ 2010」の労働の多様化、ワークシェア、潜在労働力の開拓の 3 つの目標を着実に実施して、現シュルツ首相にも引き継がれてきた結果として、効率重視の働き方と賃金の上昇(28 年前と比較して 68%増、日本は 3%減)を達成できています。

有休休暇は年 24 日で 100%取得されており、病気の際はシックリーブ(有給の病気休暇)を利用できます。夏休みは 7 週間保証されており、年間の労働時間は日本と比べて 17%程度短くなっています。

(2) エネルギー事情

ドイツはご承知のように原子力発電は行っておりませんので、火力と再生可能エネルギーによる発電になります。ロシアのウクライナ侵攻以降、火力発電の原料の天然ガス(65%ロシア依存)、石油(30%ロシア依存)、石炭(40%ロシア依存)が一時高騰しましたが、侵攻の長期化に伴って、ロシア側の需要減少・生産過剰等により、現在は 20%程度安くなり落ち着いています。再生可能エネルギーの比率は 56%もあり、ヨーロッパでは先端を走っており、電気自動車の導入にも積極的に政府が動いています。

(3) その他

メルケル政権でどうにか維持していた移民政策も、自国ファーストを掲げるポピュリスト(右傾化)の勢いが増してきているため維持が難しくなっています。

す。この右傾化の問題は、ドイツに限ったことではなくユーロ圏全体の大きな問題になりつつあります。

＜オーボエ演奏＞

- ・リムスキーコルサコフ オペラ サトコの歌
- ・リムスキーコルサコフ インドの歌
- ・中村由利子 霧のシャコンヌ 回転木馬

＜総会後の懇親会実施報告＞ 梅本 慶三 (25)

懇親会は総会后、本年も藤沢駅前の居酒屋で開催しました。懇親会には、篠田事務局長と講演者の渡辺克也さんにもご参加いただき、高 13 回から高 69 回までの幅広い年代の方 21 名が参加した懇親会になりました。

冒頭は平井会長の乾杯で始まり、途中からは恒例の一人 5 分程度の近況報告を行いました。皆さんの多彩な活動状況を聞きながら、大いに盛り上がりとともに、参加者全員で交流の輪を広げることができました。

今年は高 30 回以降の方を中心に、初参加の方も例年より増え、会員の輪の広がりを感じることができました。初めて参加される方大歓迎です。皆さんの来年の総会・懇親会の参加をお待ちしています。

＜総会等参加者＞(敬称略・ゲスト除く)

今井 周一(13)、山根 桂一(13)、福田 陽一(17)、花俣 和男(21)、高橋 健治(22)、吉田 学(23)、栗原 浩(27)、白鳥 芳武(29)、杉村 道明(30)、吉田 正敏(31)、但野 正行(34)、江川 潤(34)、永井 辰幸(34)、亀屋 夢月(69)、平井 隆一(21)、原田 洋(21)、梅本 慶三(25)、大出 佳和(27)、飯塚 浩一(31)

☆ ☆ ☆ ☆

＜会員交流イベント実施報告＞

＜鎌倉散策「杉本観音・報国寺・浄妙寺」＞

平井隆一(21)

2023 年 12 月 2 日(土)晴天恵まれた中、絶好の紅葉狩りになりました。

参加者は、湘南浦高会から 16 名、他地区から 6 名の計 22 名で、集合した鎌倉駅東口からバスに乗って①杉本寺まで行き、近くの②田楽辻子、③報国寺、④浄妙寺を訪問して、バスで鎌倉駅東口へと戻るとい

3時間弱の散策コースでした。

今回は2グループの編成なので、ガイドさんは鎌倉ガイド協会の坂本哲夫さん(17)と湘南高校出身の方の2名体制を組んで頂きました。

まず、鎌倉駅前から満員のバスに乗って20分、杉本観音前で下車し杉本寺へ。

(1) 杉本寺：鎌倉最古の寺で、本尊は3体の十一面観音。昇殿して具に拝観、ガイドさんの詳細な説明に一同感嘆！

(2) 田楽辻子：滑川(なめりかわ)の清流に多数の錦鯉が泳ぐのを鑑賞しながら、川沿いに田楽辻子を経由して報国寺へ

(3) 報国寺：「竹庭の寺」として、最近では日本人は勿論外国人にも有名に。本尊は釈迦如来坐像。境内で抹茶も堪能できる。そしてまたバス通りを横断して浄妙寺へ

(4) 浄妙寺：臨済宗建長寺派の鎌倉五山の第5番目。真っ黄色に色づいた大きなイチョウは見事でした。境内の奥にある「喜泉庵」を占有してゆっくりと抹茶と干菓子を頂き、せせらぎの音も聞きつつ、「浄明寺バス停」からまた満員バスを待って乗り鎌倉駅へ。



浄妙寺山門前にて

(5) 懇親会会場「仲の坂」にて昼食を頂きながら参加された全員に自己紹介をお願いし、お互いの親睦を深めました。他地区から参加された方々も、鎌倉の古寺と食を堪能されて帰宅されました。

<ゴルフコンペ> 原田 洋 (21)

第10回湘南浦高会のゴルフコンペを、2024年4月16日に三島カントリークラブにて実施しました。天気

は曇りの予報でしたが、朝は富士山もくっきり見えて絶好のゴルフ日和でした。木々の新緑や満開の八重桜そして桜の花吹雪の中で、ゴルフのプレイ以外の楽しみや贅沢をあらためて感じた一日でした。

今回は、7名の参加となりました。成績は80台が1名、90台が3名、100以上が3名で、スコアの平均は97.3で前回99.0より良い結果でした。今回から「75歳以上はシルバーデーからのプレイ可」としたことも影響したと思われます。プレイ後はレストランでコーヒーを飲みながら、成績発表や浦高同窓会理事会の報告などで楽しく歓談をし、次回の日程などを設定して再会を約束しました。

ゴルフコンペ(competition)と書き、成績についても触れましたが、この会はスコアを競う競技会ではありません。ゴルフ好きの人たちが自発的に集まったもので、ゴルフをしながら冗談や愚痴など言っておしゃべりを楽しんでいる会ですので、多くの浦高OBの方々が気楽に参加して下さることを願っています。



写真右から 平井隆一(21)、芳賀八郎(14)、大出佳和(27)、榎本孝雄(15)、野原輝夫(15)、梅本慶三(25)、原田洋(21)

★ ★ ★ ★

連絡事項・今後のスケジュール

<会員交流イベント>

・第11回ゴルフコンペ 10月16日開催予定
開催2か月前頃にご案内します。

・鎌倉散策 12月7日(土)開催 北鎌倉周辺
その他のイベントは決定次第ご案内します。

皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

発行責任者：平井 隆一(21・会長)

編集責任者：大出 佳和(27・事務局長)

<別紙・総会資料>

【第1号議案】2023年度の活動報告 (大出)

2023年度の総会において、活動方針として、引き続き①地域同窓会組織の確立、②会員相互のコミュニケーション活動、③本部・他地区同窓会との連携の3つを掲げました。コロナの第5類移行により活動再開可能になりましたが、限られた範囲での活動となりました。

(1) 総会の開催：

- ・2023年7月8日(土) 藤沢商工会館にて実施、活動方針・計画の確認 会員21名参加

(2) 役員会の開催：

- ・イベント前に適宜開催

(3) 会員交流イベントの開催：

- ・2023/4/15：鎌倉散策(極楽寺、長谷寺等) 16名参加
(含む他地区参加者3名)
- ・2023/5/16：第8回ゴルフコンペ開催 6名参加
三島カントリークラブ
- ・2023/10/16：第9回ゴルフコンペ開催 6名参加
かなみスプリングス CC
- ・2023/12/2：鎌倉散策(杉本寺、報国寺、浄妙寺) 22名参加
(含む他地区参加者6名)

(4) 会員懇親会の開催：

- ・2023/4/15：鎌倉散策後 12名参加(含む他地区3名)
- ・2023/7/8：総会后 21名(含むゲスト1名)
- ・2023/12/2：鎌倉散策後 20名(含む他地区6名)

(5) 「湘南浦高会通信」の発行：

- ・第15号(2023/7/25発行)

メールアドレスが登録されている会員へ発送。

(6) 会員拡大策

7月の総会で了承していただいた会員拡大のためのハガキでの呼びかけですが、次のように行いました。

- ・対象：高11回卒から高39回卒の県央、県西および湘南地区在住の同窓生
- ・人数：県央、県西地区：76名、湘南地区99名
合計175名 10/30に投函
- ・返信状況：14名からメールアドレスの登録依頼がありました。

(7) その他

同窓会本部からの指示もあり男女共学化についての情報提供をタイムリーに行いました。

【第2号議案】2023年度の会計報告 (梅本)

2024年3月31日現在

収入の部

1. 前年度繰越金	21,030円
2. 総会(2023.7.8)会費	105,000円
22名(5,000円×20 4,000円×1=4,000 1,000円×1=1,000)	
3. 鎌倉散策懇親会残金2回開催分	15,410円
4. 総会お祝い金(同窓会本部より)	10,000円
収入計	151,440円

支出の部

1. 総会 会議室使用料	15,620円
2. 総会 飲み物代	1,868円
3. 総会 本部お車代	5,000円
4. 懇親会飲食代(庄や4,000円×21名)	84,000円
5. 会員拡大費 郵送代・印刷代	12,775円
支出計	119,263円
差引残高(次年度繰越金)	32,177円

【第3号議案】2024年度の活動方針・活動計画・予算(平井)

1. 活動方針

- (1) 地域同窓会組織の確立
- (2) 会員相互のコミュニケーション活動
- (3) 本部、他地区同窓会との連携の3つを推進して行きます。

2. 活動計画

- (1) 総会の開催：7/6(土) 藤沢商工会館にて実施
- (2) 役員会の開催：適宜、役員間の懇親およびイベント準備
- (3) 会員交流イベントの開催：
 - ・ハイキング、散策等：紅葉時期の鎌倉散策を実施予定
来春には横須賀散策も実施予定
 - ・ゴルフコンペ：春、秋の年2回開催を目標。春(4/16開催済)、秋(10/16予定)
 - ・工場見学会等：是非年1回は実施したい。
- (4) 会員懇親会の開催：会員相互のコミュニケーションの推進
 - ・イベントの終了後にできる限り懇親の機会を設定する。
- (5) 「湘南浦高会通信」の発行：年2回発行(7月、1月)
- (6) 地域・職域同窓会責任者会議への出席：
- (7) 他地区との交流を促進
 - ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」は継続配信。

(8) 地域貢献・ボランティア活動

- ・どのような貢献が可能かを模索し実施に移すべく検討したい。

3. 予算

- ・各イベントは単独で収支決算できるように運営するので、特段予算組みは行わない。
- ・各イベントにおける残金は、湘南浦高会運営費（主に通信費・雑費）に充当させてもらう。

【第4号議案】湘南浦高会の役員人事について（梅本）
改めて、役員人事について提案させていただきます。任期は2026年の年次総会までの2年とします。

- ・会 長 平井 隆一 （高21回） 留任
- ・副会長 梅本 慶三 （高25回） 新任
- ・事務局長 大出 佳和 （高27回） 留任
- ・会 計 梅本 慶三 （高25回） 留任・兼務
- ・幹 事 飯塚 浩一 （高31回） 新任
- ・監 事 原田 洋 （高21回） 留任

鵜塚芳夫（副会長）、吉田正敏（幹事）は退任します。

以上